



社会人 3×3TAKAYAMA2023開催!

一般競技社会人バスケットボールのオフシーズンにあたる1月から3月にかけて3×3TAKAYAMA2023を開催しました。3×3はオリンピック種目にもなり知名度もあがり、5人制よりも激しくスピーディーな展開が多く観ている方も楽しい競技です。また5人制バスケットよりも少ない人数でプレイできるため、新チーム参加等の垣根が低く、今後の高山市のバスケット一般競技者の増加、ひいては高山市のバスケットボール普及にも一役買えるものと感じています。

2023の参加チームは5チームでしたが、今後参加チームの募集などが出来ればと考えています。また併せて春から始まる高山リーグも一層盛り上げて、より活気あふれる一般協議社会人バスケットにして行きたいと思っております!



U18 県新人大会を終えて

1月8日、9日に令和4年度岐阜県高等学校バスケットボール新人大会飛騨地区予選が行われました。男子は高山西高校、斐太高校、吉城高校、益田清風高校、女子は、高山西高校、斐太高校、飛騨高山高校が計5校、7チームが県大会へ出場しました。そこで、5位入賞を果たした高山西高校男子と県ベスト4入りを果たした高山西高校女子のキャプテンへ、今大会を終えて、また、今後の試合に向けてインタビューを行いました。

蒲 望実 (高山西高校女子バスケットボール部 主将)



私たちは、岐阜県2位という目標を掲げて新人戦に向かいました。何度も相手を追い詰めたのですが、あと少しのところまで敗れ、結果は県4位で終わりました。県岐阜商業も、岐阜農林も、決して届かない相手ではないことがよくわかった大会でした。だからこそ余計に悔しかったです。

インターハイ予選では、もっともっと進化して、リベンジができるように、目の前の課題を一つ一つクリアしていくことをみんなで楽しみながら、強くなっていきます。

北澤 史琉 (高山西高校男子バスケットボール部 主将)



三年生が引退し、私たちの代で初めての公式戦である新人戦は、試合の始めから終わりまで、自分たちのやりたいバスケットができず、悔しい結果で終わりました。ポイントガードとしての自分のプレーメイキングが悪く、ミスが多くなってしまったり、みんなに悪いシュートを打たせてしまったりと頼りないことをしてしまいました。

試合の苦しい時間帯や我慢をしなければならないときに、安定した堅いディフェンスから、力強くシュートを決めきる力というのが今の自分たちには足りなかったと思います。新人戦を終えてからの練習では、良い意味で自分たちの現在地を知れたことから、慢心することなく自分にひたむきに練習に取り組んでいます。インターハイ予選ではチャレンジャーなので、臆することなく思い切ったプレーをし、優勝できるよう頑張ります。

編集後記

3月に行われた、WBC (World Baseball Classic) の決勝戦で、まるでアニメや漫画のような展開でアメリカに劇的勝利し、世界一に輝いた侍ジャパン。多くの人がテレビ中継を通して観戦していたと思います。決勝戦が始まる前の侍ジャパンのエンジンでは大谷翔平選手が、「今日だけは憧れることをやめましょう。憧れては越えられませ

ん。」というような発言があり、すごく心を打たれ私はすぐにメモを取りました。バスケットボールに関してもこれは同じことが言えると思います。夏には、バスケットワールドカップの開催国にもなっている日本。今大会では、バスケット日本代表が世界の強豪国相手にどのような戦い方をしてくれるのか、非常に楽しみです。(K・B)



TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION
飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!
編集・発行：高山市バスケットボール協会
tabba.jp

高山市バスケットボール協会は
賛助会ははじめ協会を支えてくださる皆様のお力添えをいただきながら地方が疲弊化する中で若者にバスケットボールを通じて夢と誇りを持って頂きこの地域を支える大きな担い手としての存在に大きく成長してくれることをを希望しながらこれからも協会活動に邁進していきます

宮崎早織選手クリニック開催!

宮崎早織選手



講演会&バスケットボールクリニック



令和5年4月26日(水)バスケットボール女子日本代表、ENEOSサンフラワーズポイントガードでWリーグ優勝を果たされました、宮崎早織選手が高山西高校にてクリニックを行っていただきました。

高山市バスケットボール協会が主催となり、当協会長・蓑谷と賛助会員でもある株式会社アクアテック様とのご縁と会社の全面的なサポートで開催されたクリニック。

当日はU15・U18の選抜選手がクリニックを受講し、保護者やU12また多数のバスケットボール関係者が見守る中、明るく楽しく指導して下さる宮崎選手。あっという間のクリニックの時間となりました。

宮崎選手の入場と共に会場は大賑わい!オリンピックで受賞された銀メダルも披露して下さり、日頃はお目にかかれない光景に、地元中学生、高校生、見学の小学生も目を輝かせて見入っていました。

テレビでしか見たことのない本物のスター選手を前に緊張しながらも、宮崎選手の人柄で楽しく選手たちをリードして下さり、短い時間でしたが大変有意義なクリニックとなりました。

宮崎選手の身のこなしやスキルの高さに感心しつつも挑戦する選手たち。クリニックの後半には宮崎選手が普段行っているワークアウトの紹介や選手と直接1on1を行って下さるなど、宮崎選手のサービス精神とやさしさには感謝です。この体験は参加選手の宝物になったと思います。



みんなで記念写真



銀メダルを披露して小学生に触れさせて下さいました



アップから元気に子供たちをリードして下さいます



自ら見本を見せて下さった後全員でチャレンジ



スキルのポイントを丁寧に身をもって教えて下さいました



普段されているワークアウトを披露



選手たちと1on1!



一人ひとりにサイン会



U12 ミニバスケットボールも元気に活動中!!!

高山市では U12 のバスケットボール普及として、高山ミニ男子、高山ミニ女子、高山ドルフィンズ（女子）、プレイカーズ U12 男子、プレイカーズ U12 女子、小学生バスケットボール教室が活動されておられます。今回はその中から高山ミニ男子をご紹介します。

高山ミニバスケットボールクラブ男子は、市内の各小学校の1年生から6年生までを対象に、バスケットボールを楽しんでいます。活動地域は、市内の小学校の体育館を利用して、毎週4回の練習をしています。4年生5年生6年生は、平日2回土日2回の練習日を設けて、県大会優勝への目標に向かって日々頑張って練習をしています。1年生2年生3年生は、土日2回の練習日を設けて、楽しくバスケットボールを体験し、パス、ドリブル、シュートの基本練習をしています。高山ミニバスケットボールクラブは、岐阜県バスケットボール協会 U-12 部会に加入しています。1年間の間に決まった試合数があります。その試合を通して、子供達にバスケットボールの楽しさ難しさや、他のチームとの交流を体験し、小学校の間に体力やメンタルを鍛えて大きく成長しています。この10年間で東海大会優勝1回、県大会優勝4回、県大会準優勝4回の成績です。本気でバスケットボールを楽しみたい、技術を磨き上手になりたい、そんな子供達が集まっています。今後も頑張って活動していきます。



U15 令和4年度 ジュニアの活躍!!

『第14回あらかぎカップ』の開催12月27日(火)、28日(水)の2日間、男子は古川中学校、古川トレーニングセンター、中山中学校で、女子は、飛騨高山ビッグアリーナであらかぎカップを開催しました。コロナ禍の3年目ですが、参加を呼びかけたところ、東は長野県から西は大阪府まで、他府県から多くの中学校やクラブチームが参加してくれました。男子は19チーム、女子は18チームが参加し、熱い試合を繰り広げました。大会はコロナ対策を万全に行い、レベルの高いチームとの試合や交流をすることができ、全体をとおして大盛況でした。高山市の学校やチームもバスケットボールのスキルだけでなく、人としても大きく成長できた2日間となりました。令和5年度は、コロナも収束しバスケットボールができる環境も整います。さらなるレベルアップや盛り上がりを願って、日々の練習や生活に臨んでいきます。

